

Product Data

防火戸用指定シーリング材(日本シーリング材工業会指定)

建築用2成分脱ヒドロキシルアミン形シリコーン系シーリング材 **難燃性**

トスシール 64

トスシール64は、建築用2成分脱ヒドロキシルアミン形シリコーンシーリング材です。難燃性・発熱特性に優れており、防火戸用シーリング材として日本シーリング材工業会より指定されています。

特 長

- 難燃性に優れています。
- プライマー併用によって、各種部材に対して良好な接着性を示します。
- 硬化後は、伸びが大きく、目地の変形に対する追従性に優れています。
- 耐熱性、耐寒性に優れています：-55～150℃の広い温度範囲でゴム弾性、接着性を維持します。

用 途

- 防火戸用指定シーリング材(日本シーリング材工業会指定)
- その他、難燃性の要求される目地シール

特性例

硬化前の特性

(JIS A 1439)

項 目		特性値
外観	基 剤	ペースト状
	硬化剤	液状
混合比 (質量)		100 : 2.7
密度 (23℃)	g/cm ³	1.49
可使時間* H	5℃	10
	23℃	3(2)
	35℃	1.5(1)
指触乾燥時間 (23℃)	h	6
押し出し性 (5℃)	s	6
スランプ	mm	0
プライマー使用の要否		要

注) *: なるべく()内に示す時間内に作業を完了してください。

硬化後の特性

(JIS A 1439)

項目	特性値
被着体*1	ガラス
50%引張応力 (養生後) N/mm ²	0.28
最大引張応力 (養生後) N/mm ²	0.90
最大荷重時の伸び (養生後) %	630
破壊時の伸び (養生後) %	630
凝集破壊率*2 (養生後) %	100
耐久性	10030で異常なし

注) *1: プライマーはトスプライムニューFを使用

*2: 薄層破壊を含む

発熱特性

試験方法	トスシール64	規定
旧昭和45年建設省告示 第1828号による基材試験	合格	着炎時間が100秒以上、かつ温度時間面積が 50°C・分以下であること

プライマーの被着体別選択表

被着体		プライマー
モルタル 石材	モルタル*1	(トスプライムC)
	ALC	(トスプライムC)
	みかげ石	(トスプライムC)
	スレート板	(トスプライムC)
ガラス 陶器	ガラス	トスプライムニューF
	熱線反射ガラス	トスプライムニューF
	高性能熱線反射ガラス	トスプライムニューF
	タイル	トスプライムニューF
金属	アルミニウム	トスプライムニューF
	2次電解着色アルミニウム*2	トスプライムニューF
	ブリキ	トスプライムニューF
	トタン	トスプライムニューF
	軟鋼	トスプライムニューF
	ステンレス SUS 304	トスプライムニューF
塗料・塗装 金属	焼付アクリル系 (デュラクロン)	トスプライムニューF
	常乾アクリルウレタン系 (アクレタン)	トスプライムニューF
	常乾ウレタン系 (Vトップ)	トスプライムニューF
	焼付ウレタン系 (Vクロマ)	トスプライムニューF
	エポキシ系	トスプライムニューF
	フッ素塗料 (デュフロン)	トスプライムニューF
	フッ素塗料 (ニューガーメット)	トスプライムニューF

	塩ビ鋼板 (三菱・大同)	トスプライムニューF
	アクリル電着塗装	トスプライムニューF
プラスチック	FRP	(トスプライムニューF)
	硬質塩ビ樹脂	トスプライムニューF
	ポリカーボネート	—
	アクリル樹脂*3	(トスプライムD)
	エポキシ樹脂	トスプライムニューF
	メラミン樹脂	トスプライムニューF
	フェノール樹脂	トスプライムニューF
	ナイロン	トスプライムニューF
	ABS樹脂	トスプライムニューF
シーリング材	ポリサルファイド	
	トスシール361	無処理
	トスシール371	無処理
	トスシール381	無処理
ゴム	CR	(トスプライムニューF)
	NBR	(トスプライムニューF)
	SBR	(トスプライムニューF)
	EPR	(トスプライムニューF)
木材		(トスプライムC)

注) *1：モルタルのはく離剤の種類により接着性が異なることがあり、確認試験が必要です。

*2：封孔処理などにより接着性が異なることが予想されますので、必ず確認試験を行ってください。

*3：下地の清掃には、ノルマルヘキサンを使用してください。また、事前にソルベントクラックの有無確認および接着性確認試験が必要です。

- 1) ()内は、接着性能が不十分ですが現時点で最良のものです。
- 2) 空白は未試験です。
- 3) —は推奨できない組み合わせです。

なお、異種被着体の組み合わせで共通のプライマーがない場合(上表で)、必ずプライマーを塗り分けてください。

プライマーの選択には、十分な注意を払ってください。安全を期するために、そのつど接着性の確認試験を行ってください。

上記以外の被着体については、弊社にお問い合わせください。

設計伸縮率、設計せん断変形率

トスシール 64の設計伸縮率、設計せん断変形率は下記の数値を採用してください。

伸縮 %	M ₁	20
	M ₂	30
せん断 %	M ₁	30
	M ₂	60

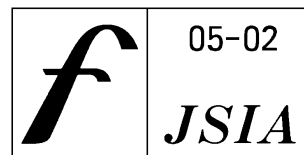
注) M₁ : 温度による伸縮を考慮する場合。

M₂ : 風、地震による伸縮を考慮する場合。

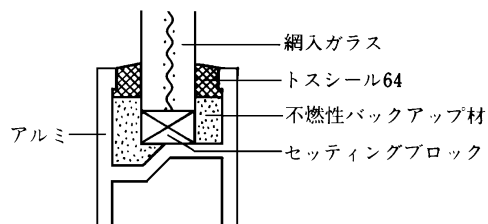
防火戸用指定シーリング材について

旧アルミニウム防火戸認定推進協議会の(通)第2号(アルミニウム製乙種防火戸)による通則認定を受けていた防火戸用のシーリング施工には、指定シーリング材を使用しなければなりません。この指定シーリング材とは、旧昭和45年建設省告示第1828号に規定する基材試験に準拠した試験を行い、発熱特性が規定の基準を満たしたものを日本シーリング材工業会が防火戸用シーリング材として指定したものです。

○トスシール 64の指定シーリング材マークを
右に示します。



○目地の納まりの例



○目地のバックアップ材には不燃性の材料を使用し、セッティングブロックのない部分にも隙間なく不燃性バックアップ材を隙間なく装てんしてください。

○シーリング施工は建築工事共通仕様書、建築学会建築工事標準仕様書(JASS8、JASS17)等に準じて行ってください。

施工手順および施工要領

トスシール 64は2成分形ですので、硬化剤(触媒)を完全に混合してからご使用ください。施工の手順を示すと次のようになります。

1) 施工面の調整

- ①まず目地の清掃を十分に行ってください。施工部の汚れは適当な溶剤で清掃した後、よく乾燥させてください(溶剤としてアルコールの使用は避けてください。乾燥が不十分の場合硬化不良を起こします)。
- ②バックアップ材は適正な形状の指定された材質のもの(防火戸用指定シーリング材(日本シーリング材工業会指定)として用いる場合には、不燃性のもの)を用い、切れ目なくかつ隙間がないように装てんしてください。マスキングテープはシーリング材専用のもを使用してください。
- ③専用プライマーを使用してください。塗布は当日施工分とし、塗布後30分以上(常温)のオープンタイムを取ってください。

2) 混合

硬化剤は適正量がセットとなっていますので、基剤1缶に硬化剤1個を全量配合してください。混合は弊社推奨の混練機を用いて10~15分混練してください。

3) 施工

一般のコーキングに気泡が入らぬように気をつけながら充てんしてください。施工可能な時間は常温で2時間以内ですが、できるだけすみやかに施工してください。ベトツキがなくなるまでには6~12時間、完全硬化には4~7日を要します。

4) 仕上げ

ヘラ押さえを十分に行い、マスキングテープをはがして作業が完了します。

使用上の注意

- 未硬化のものは刺激がありますので、目や口に入れないように、また皮膚に長く付着したままにしないよう、ご注意ください。
- 取扱い時には、保護眼鏡および必要に応じて保護手袋を着用してください。
- アルコール雰囲気中では硬化不良になることがありますので注意してください。
- 換気のよい所でご使用ください
- 一部の合成ゴム(EPT、クロロプレンなど)と接触するとシーリング材が変色することがありますので、ご注意ください。

保 管

- 未開封のまま、直射日光を避け、冷暗所(5～25℃)に保管してください。
- 有効期間は、未開封・常温(5～25℃)保管で、製造後9ヵ月です。
- プライマーは、溶剤を含んでおり、危険物ですので火気に十分注意してください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。

荷姿および色

荷 姿	容 量	色	カラーサフィックス
丸 缶	3L	ホワイト	－W
		グレイ	－G
		ブラック	－B
		ダークブラウン	－A

注) 3L×4缶入り/1ケースです

消防法危険物

- 基 剤 : 危険物非該当。消防法上、指定可燃物の合成樹脂類に該当するため、3t以上保管する場合、届け出が必要です。
- 硬化剤 : 危険物第4類第3石油類

発行：1994年11月/改訂⑩2021年11月

・本製品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療用その他特殊用途に使用される場合は、貴社にてその安全性を事前にご試験ご確認のうえご使用ください。なお、体内に埋植、注入する用途、または体内に一部が残留するおそれのある用途には絶対に使用しないでください。
・記載のデータは、弊社の試験方法による実測値の一例で、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するか必ずご確認願います。なお、本文中の用途は、いかなる特許にも抵触しないことを保証するものではありません。
・製品改良のため、予告なく内容を変更する場合があります。
・安全性に関する詳細な情報につきましては、安全データシート(SDS)をご参照ください。

・本資料を転載される場合は、弊社までご連絡ください。
・仕様書を要求される場合は、営業を通してお求めください。



モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン合同会社

<https://www.momentive.com/ja-jp>

営業推進室
東京本社(営業)
大阪支店
名古屋支店

TEL.03-5544-3111
TEL.03-5544-3111(代) FAX.03-5544-3122
TEL.06-6251-6272(代) FAX.06-6252-8255
TEL.052-962-5731(代) FAX.052-962-5750